

「もんじゅ」に係る県民意見の募集状況について

平成 13 年 10 月 27 日
もんじゅ安全性調査検討専門委員会事務局

1. 「県民意見の募集」について

委員会では、「もんじゅ」全体の安全性に係る「県民意見の募集」を、平成 13 年 8 月 7 日から行っており、9 月 6 日までに 40 名の方から意見をいただいた。

これらの意見をもとに、9 月 22 日に「県民の意見を聴く会」を若狭湾エネルギー研究センターで開催し、16 名の方から直接意見をお聴きした。

「県民の意見」は、継続して募集しているが、10 月 26 日までに新たに 1 件の意見が寄せられた。

< 9 月 7 日以降にいただいた意見 >

〔意見受付 No.25 (住所：敦賀市)〕

事故時の自治体への通報体制について

- ・ 「事故時には速やかに連絡する」と安全協定で決められていながら「もんじゅ」だけでなく今までの原発事故でそれが守られたことがない。
- ・ すべての原発で、事故時には直ちに自治体へ連絡する体制を確立してほしい。
- ・ オフサイトセンターを設け、専門家を置いても通報が遅れれば意味がなくなる。

2. 「県民の意見を聴く会」でいただいた新規の意見について

「県民の意見を聴く会」では、16 名の方から発言をいただいた。発言の中で、あらかじめいただいた意見以外に、新規に発言された内容について、下記の通り整理した。

これらの意見については、今後、検討課題 14 項目の中に分類する予定である。

〔意見受付 No.6 (住所：大野市)〕

- ・ チェルノブイリの事故が起こったのは実験の最中であった。そのような何らかの実験の最中に異常なことが起こることは当然ありうるわけであり、「異常なことが起こらなければ実験としての意味がない」と、逆に言うこともできると思う。

〔意見受付 No.16 (住所：敦賀市)〕

- ・ 原子力安全委員会は、2 次系のドレンの問題だけを審査するわけであるが、設工認の関係は原子力安全・保安院の仕事になる。それから、総点検の問題は、サイクル機構内部の問題としてやるということである。
- ・ 県は、「(もんじゅ全体の安全に係る)すべての問題(について調査する)」と言

っているが、委員の先生方は、「もんじゅ」全体をもう一度原点にかえって調べようとされているのかどうか、きちっと方針を出していただきたい。

〔意見受付 No.18 (住所：美浜町)〕

- ・ 耐震安全性を考えると、材料の老朽劣化を考慮しているかどうか。私はしていないと考えているが、もししているということであれば、劣化診断技術があるのかどうか教えていただきたい。
- ・ 原発の下で直下型地震が起きてしまうと、短い周期の揺れが岩盤では良く伝わり、原発のように窓のない剛構造の建物は短い周期の揺れに対して非常に良く揺れてしまうという欠点がある。そうすると直下型地震の場合、岩盤に建つ原発の方が危ないということになると思うが、その辺りの PR にたくさんのお金を使っているが、本当にそうなのかという疑問を持っており、是非確認してもらいたい。

〔意見受付 No.21 (住所：大野市)〕

- ・ 「もんじゅ」の配管は、すべて基本的にステンレスでできている。ステンレスは、水酸化ナトリウムに入れると、瞬時に反応して水素と熱がまた出る。こういうことで、水素が多量に出て空気と混合すると、爆発的に燃えるという性質を持つ。非常に水素は比重が軽いし制御しにくいということで、回収が困難である。
- ・ ナトリウムの熱伝導率がよいということは、もし1ヵ所で発熱が起きたときは、非常に他に伝わりやすく、化学反応による局所的、急激な熱衝撃によって配管全体に被害を及ぼすということも否定できないと思う。
- ・ 「もんじゅ」のナトリウム漏れ事故は、素人から見ると、送電開始からたった101日後にナトリウム漏れ事故が起こった。また、全く想定されていなかった場所でナトリウム漏れが起きたということも事実だと思う。もし、次の事故が同じように想定外のところで起きた場合、「もんじゅ」がうまく停止してくれるかということとは、保証できないのではないかなという不安を持つ。

〔意見受付 No.25 (住所：敦賀市)〕

- ・ ナトリウムだけではなく、最近問題になっている蒸気発生器の検査方法なども基礎研究の中に入ると思う。このため、すべての基礎研究をみっちりやり、すべての部品や装置について総点検して安全の確認を行ってほしい。それを今、当事者や原子力安全委員会などの内輪だけでやっており、それだけでは信用できない。

〔意見受付 No.28 (住所：小浜市)〕

- ・ 旧動燃の方々は、事故解析コードの中身を、全然、公表していないと聞いている。(座長は)「科学者の立場から事実を確認したい」と委員会でもおっしゃっていた。その辺の事実関係をきっちり調べていただく必要があると思っている。
- ・ 事故で恐れているのは、地震と複合した問題、蒸気発生器の問題が炉心にフィードバックされるなど様々なことがある。単純な事故解析だけで事足りるとは考えていない。

- ・ 委員会の皆さん方が結論を出されるまでに、少なくとも数回でも、何回でも双方で共通のテーマで、双方向の議論ができるように積み重ねていただきたい。
- ・ 国やサイクル機構とは断固と毅然と独立した機関として、県と専門委員会の皆さんが、県民の立場に立った役割を果たしていただきたい。

〔意見受付 No.41 (会場からの意見)〕

- ・ 5年も6年も(「もんじゅ」を)そのままにしておいて、一生懸命やっているのかもしれないが、世界では「やめた」という所もいっぱいあるのに日本だけがなぜ進めているのか。

〔意見受付 No.42 (会場からの意見)〕

- ・ 懐疑派の人達も入れて是非審査会を持っていただきたい。
- ・ (この会場のある)エネ研は非常に立派な建物で綺麗だが、ここまで来るのに大変である。敦賀ならプラザ万象とかあいあいプラザでやっていただきたい。

〔意見受付 No.43 (会場からの意見)〕

- ・ (「もんじゅ」が)安全なら東京に建てていただきたい。